

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成30年1月25日 (2018.1.25)

【公開番号】特開2016-207970(P2016-207970A)

【公開日】平成28年12月8日 (2016.12.8)

【年通号数】公開・登録公報2016-067

【出願番号】特願2015-91806(P2015-91806)

【国際特許分類】

H 0 1 L 23/29 (2006.01)

H 0 1 L 23/31 (2006.01)

C 0 9 K 3/10 (2006.01)

H 0 1 L 31/048 (2014.01)

【F I】

H 0 1 L 23/30 F

C 0 9 K 3/10 Z

H 0 1 L 31/04 5 6 0

【手続補正書】

【提出日】平成29年12月11日 (2017.12.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光硬化性樹脂組成物からなり、以下の物性 (A) ~ (C) を満たすことを特徴とする透明封止材。

(A) 85、85%RHの環境下で48時間静置した際の透明封止材の吸水率が0.5質量%以下。

(B) 当該透明封止材を、ガラスと透明プラスチック板とで挟んで貼合させたサンプルのヘーズ ( $H_1$ ) が5%以下。

(C) 前記ヘーズ ( $H_1$ ) と、前記サンプルを85、85%RHの環境下で500時間静置させた湿熱試験後のヘーズ ( $H_2$ ) とのヘーズ変化量 ( $H_2 - H_1$ ) が5%以下。

【請求項 2】

前記光硬化樹脂組成物は、エチレン -            - オレフィン系共重合体を少なくとも1種以上含むことを特徴とする、請求項 1 に記載の透明封止材。

【請求項 3】

前記光硬化樹脂組成物は、架橋剤及び光架橋開始剤を含むことを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載の透明封止材。

【請求項 4】

前記架橋剤が、ラジカル架橋反応可能な単官能及び2官能以上の多官能ビニルエステル並びに(メタ)アクリル酸エステルから選択されるものである、請求項 3 に記載の透明封止材。

【請求項 5】

前記架橋剤が、ラジカル架橋反応可能な単官能又は2官能以上であって、炭素数6以上の直鎖状脂肪族系若しくは環状脂肪族系(メタ)アクリル酸エステルである、請求項 3 に記載の透明封止材。

【請求項 6】

光硬化後の状態で、温度 23℃、周波数 1 Hz における貯蔵弾性率  $G'$  が 100 kPa 以上 5000 kPa 以下、かつ、温度 85℃、周波数 1 Hz における貯蔵弾性率  $G'$  が 5 kPa 以上 500 kPa 以下であることを特徴とする、請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の透明封止材。

【請求項 7】

光硬化前の状態で、温度 85℃、周波数 1 Hz における貯蔵弾性率  $G'$  が 1 kPa 以上 30 kPa 以下であることを特徴とする、請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の透明封止材。

【請求項 8】

請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の透明封止材の少なくとも片面に離型フィルムを積層してなる透明封止材積層体。

【請求項 9】

請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の透明封止材の少なくとも片面に透明プラスチック板を積層してなる光学装置構成用積層体。